

リーフ手渡し「投票に行こう」



リーフを見せながら患者さんと話す森元さん(右)。壁には保団連のポスターも

東京歯科協会の森元主税さんは、保団連のリーフを使って、患者さんに「投票に行こう」と呼びかけている。75歳以上の窓口負担2割化による高齢者の受診抑制が心配と話す森元さんに、取り組みを聞いた。

参院選に向けて、待合室に「選挙に行こう」のポスターを貼り、患者さんにリーフを手渡しながら投票に行こうと話しています。

当院に来る患者さんの多くは70代のお年寄りです。10月から実施される医療費窓口負担2割化のまさに当事者です。受診抑制がとても心配です。訪問歯科診療もしていますが、負担増で受診回数に大きな影響がでるのではありません。食費を減らすことは、食べることをあきらめることに直結します。食費を減らすことは生きる力を奪うことだと思います。そんなことを許してはいけません。2割化中止の声が広がり、参院選で争点になり、中止に賛成する議員が増えれば、10月実施はまだ止められるよと患者さんに話しています。